

ていしよ き まう
こんにちは 日本共産党府議会議員
さこ祐仁 議会報告



九月議会終わる。国政に続き、京都府政も変えましょう！

9月議会（9月24日から10月9日）が終わりました。国民の声で、自公政権が退場させられたもとの議会論戦でしたが、「今の知事では、新しい時代の変化についていけない。京都府には、新しい知事誕生で、府民の願いを生かしていかなければ」と思いました。

これまで「小泉構造改革に同感」と述べ、市町村合併を押し付けて、府立洛東病院の廃止、保健所や土木事務所の統廃合など京都府に構造改革路線を持ち込んできた責任を追及されても、知事は、「自分は構造改革論者とは違う」かのような答弁してごまかそうとしました。

今の知事は時代の変化について

一つはむだなダム建設は中止、見直します。

この中には京丹波町の畑川ダムが入っています。兵庫県などは県営ダムも55%が国庫補助金であることから入札を延期しています。ところが京都府は畑川ダムの入札を総選挙中の8月24日に駆け込み的におこない、今議会に契約案件として提案しました。我が党はこれを批判し、いったん中止し、見直し再検討を求めたのに対し、「必要なもの。すす

める」との答弁。ダムはムダで、環境をも破壊することから、世論は「見直しを」が大きな流れです。この流れが知事には見えていません。

もうひとつは、地球温暖化問題

首相の25%削減発言を「評価する」といいながら、これを受けて、京都議定書の知事として、「京都府の基本計画を積極的なものに」と我が党議員の質問に、「25%はアメリカや中国が参加することが前提。まだはっきりしない。25%の真水部分はまだわからない」と言っており、具体化は先送り、そして860万トンもCO2を排出する舞鶴石炭火電はすすめるというのでは、政府の足引っ張りの役割です。

国の政治に続いて、京都の政治も門ゆうすけさんで変え

10, 9府民大集合
みやこメッセに5000人



「府営水道値上げストップを」と提案

10月8日、府営水道の値上げをさけるための京都府の努力を求める提案をもって、文化環境部長に申し入れを行いました。



府営水道問題は、大山崎町の過大な基本水量の見直しを求めるとの判断が注目されていますが、いままでは三浄水（宇治、木津、乙訓）の統合を機に、大幅な値上げが関係市町に押し付けられる危険が高まっています。府議団は、暮らして市町財政が大変なとき、値上げを押し付けなため、①一般会計からの財政負担、②過大な水需要予測に基づく

過剰な水利権の放棄、③使っていない水まで料金を払わせる基本水量の押し付けの見直しなど、提案を行いました。

部長は「公営企業法は一般会計からの持ち出しを厳しく規制している」と一般会計からの持ち出しはできないかのように答えましたが、「流域下水道であれば、公共事業として一般会計で行っている。耐震対策などは企業会計にせず、一般会計の事業としてやればよい」と指摘に、「それはそうだが」と答えざるを得ませんでした。また、「右肩上がりではなくってきたもとの公営企業法の見直しも国において検討されているようだ」とも言いましたが、「それならなおさら、まず京都府からこれまでのあり方を見直せばよい」と指摘しましたが、我が党議員団の提案が道理ある提案であることを示すものです。

各学区で区民体育祭が開催される！

10月11日、上京区16学区の区民体育祭や祭りをくらたとも子市会議員と一緒に訪問し、競技参加者や各学区体育振興会・各種団体役員の方々を激励し、懇談しました。

